

2025年7月2日

関係各位

立憲民主党北海道総支部連合会
代 表 逢坂 誠二

2025エゾシカ政策対策本部の設置について

エゾシカによる農作物への被害は年々深刻さを増しており、2023年度の被害総額は約51億円、野生動物による被害全体の8割を占めている状況にあります。被害は作物全般、道内全域に拡大しており、その影響は収穫量の減少や生産者の耕作意欲の低下、さらには中山間地域の営農継続にまで及んでいます。

これまでの対策としては、個体数の抑制や電気柵などによる防護などを中心に行われてきましたが、個体数の増加や生息地域の拡大が想定以上に進み、また狩猟者も減少傾向にあることから、十分な効果を得るには至っていないのが現状です。

立憲民主党は、農地は食料の安定供給を支え、多面的な機能を発揮するという公共的な資源として位置付けていることから、今後は「駆除」という方針のみならず、エゾシカを「地域資源」として位置づけ、持続可能な地域社会の形成に向けた取り組みを行っていく必要があると考えております。

つきましては、こうした取り組みを本格化させることを目的に「立憲民主党北海道エゾシカ政策対策本部」を設置し、様々な課題整理や政策立案を行ってまいります。

記

＜名称＞立憲民主党北海道総支部連合会 2025エゾシカ政策対策本部

＜設置日＞2025年6月30日（月）